

開発系コンサルタント・建設関連等企業 各位

昨年度に引き続き、『国際協力アクティブ・ラーニング講習会』の開催案内を申し上げます。本講習会は、拓殖大学と一般社団法人 国際建設技術協会の共催による企画で、海外業務従事経験の少ない、開発系コンサルタント及び建設関連企業の職員（年齢を問わず、技術系・事務系とも海外業務従事経験が5年前後を目安）を対象とするものです。

1. 講習会の目的

将来、我が国による海外協力において、幅広い分野で活躍を期待される技術者の方々に、国際協力や途上国におけるインフラ整備の現状、各種課題について理解を深めて頂くことを目的とするものです。

2. 講習会の進め方

講習会は年4回で構成します。各回は講義に加え、ワークやディスカッションを取り入れたアクティブ・ラーニング形式に拠り、講習効果を高めます。

講義及びワークには、毎回、指定教本^(※)を使用し、4回の講義で、ロジカル・フレームワーク手法、PCM手法他の開発協力に必要な様々な手法について取り纏められている教本全体を学ぶ計画です。

※ご参加頂けない回がある場合、来年度以降、該当する回にご参加頂くことで学習対象を網羅することが可能です。

(※)指定教本:『国際協力 アクティブ・ラーニング ～ワークでつかむグローバルキャリア～』

著者：佐原教授、徳永教授 出版社：弘文堂 価格：本体 1,800円+税)

目次等は下記ご参照ください。

<http://www.koubundou.co.jp/book/b215950.html>

⇒ ご参加に際しては、予め、上記教本をご購入下さい。

3. 講師

佐原 隆幸 拓殖大学国際学部教授（国際学部長）

略歴：マンチェスター大学で開発行政(論文博士)を学ぶ。1980年から22年間、国際協力事業団に。その間に在チリ日本大使館書記官、国際大学客員教授、インドネシア事務所次長などを経験。2001年から拓殖大学国際学部へ。

徳永 達己 拓殖大学国際学部教授

略歴：1984年拓殖大学卒業後、青年海外協力隊、(社)国際建設技術協会、エイト日本技術開発(株)を経て、2015年より拓殖大学国際学部へ。この間、東京海洋大学大学院修了。専門は都市計画、交通計画などのインフラ開発およびプロジェクトマネジメント。

4. 参加申込み

- ・ご参加を希望される方は、添付の参加申込書へ必要事項を記入のうえ、本案内末尾の申し込み先へご提出下さい。
- ・講習会では前述の指定教本を使用いたします。参加される方は、あらかじめ同書を購入いただき、当日ご持参ください。
教本は、店頭、ネット通販、拓殖大学購買部（当日購入可）にてお求めいただけます。

5. 講習会の開催要領

- 主 催 : 拓殖大学と（一社）国際建設技術協会による共催
日 時 : 開催日は、下記参照 14時35分～18時05分（休憩15分）
場 所 : 拓殖大学 文京キャンパス D号館-601 教室（アクセスは下記 URL 参照）
<http://www.takushoku-u.ac.jp/access.html>
<http://www.takushoku-u.ac.jp/summary/bunkyo-campus.html>
講 師 : 佐原教授（拓殖大学 国際学部長）、徳永教授
講義日および内容 : （教授による講義とGW）

	開催日	講演内容
第1回	6月14日(木)	「組織制度づくり」(1章、10章、実践ワーク4)
第2回	7月12日(木)	「これからの国際協力」(14章、15章、実践ワーク5)
第3回	9月13日(木)	「経済分析」(5章、実践ワーク1、2) ※パソコン持参
第4回	10月11日(木)	「計画手法」(6章から8章)

対 象 者 : 新卒／ベテランを問わず、技術系事務系とも海外業務従事経験が5年前後のコンサルタント及び建設関連企業の職員（専門分野・年齢不問）

定 員 : 20名

参 加 費 : 2,000円／回（4回分まとめてお支払いの場合6,000円）

（※各回のみ、申し込み可能です。全4回参加された方には受講証を発行いたします。）

6. 講習会に関するお問い合わせ、参加申込について

講習会に関する問い合わせ先：

（一社）国際建設技術協会 総務企画部 伊藤

TEL:03-5227-4107

E-mail:idi17@idi.or.jp

参加申し込み：

添付の申込書（Word ファイル）に必要事項をご記入いただき、

（一社）国際建設技術協会 総務企画部 沼田までメール／FAX 等でご提出下さい

E-mail:idi20@idi.or.jp

TEL:03-5227-4107

FAX:03-5227-4109

※申し込み期間は、各回の1週間前の17時迄とさせていただきます。定員になり次第、締め切らせていただきます、予めご了承ください。

以 上